

|      |     |
|------|-----|
| 試験科目 | 小論文 |
|------|-----|

(所定の解答用紙に解答すること)

**I**

卒業研究の開始や大学院への進学は、それまでの座学中心の「学び」から、能動的な「研究」へと移行する節目です。この転換について、以下の問いに答えなさい。

1. 「学ぶこと」と「研究すること」の違いは何だと考えますか。あなたの考えを200字程度で述べなさい。

2. 基礎研究において、「問い」を立てることは研究の出発点であり、重要な営みです。ただし、問いの立て方は一つではなく、さまざまなきっかけや思考から生まれます。

あなたは、優れた研究上の「問い」がどのようにして生まれると考えますか。以下の解答例を参考にし、次の2点について記述しなさい。

※自身や所属研究室の研究内容には直接言及しないこと。

(1) 「問い」が生まれるプロセス (50~100字)

(2) そのプロセスを体現する具体例 (100~200字)

**解答例**

**プロセス**：既存の手法や道具に限界や不便さを感じたとき、その違和感や欠落感から、新たな問いが生まれることがある。(50字)

**具体例**：従来の有機合成は、収率や選択性が低く、複雑な保護基操作や精密な条件設定が必要で煩雑だった。こうした煩雑さに対して「もっとシンプルで確実に分子をつなぐ方法はないか？」という問いが生まれ、クリックケミストリーが誕生した。(108字)

※この解答例はあくまで参考です。(1)(2)ともに、自身の思考に基づいた記述を行うこと。引用・流用と認められる解答は減点の対象とします。

2026年後東北大学大学院薬学研究科博士課程（前期2年の課程）

推薦入学試験問題 小論文

出願意図

薬学研究者としての素養と着想の独自性、そして適正な論文作成能力を有しているか。